

平成 29 年 7 月 7 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会  
会 長 森 川 英 典

第 491 回 構造懇話会 平成 29 年度 例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。  
標記の平成 29 年度例会を下記のとおり開催いたします。  
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 29 年 8 月 7 日 (月) 13:15～16:25

2. 場 所 **兵庫県民会館 10 階 福**  
神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL 078-321-2131

3. 議 題

1) 例会 ①部 13:15～14:10

『PC ケーブルの自動緊張装置・管理システム (CCL 工法) の開発』

神鋼鋼線工業(株) 技術部 PC 技術室 松平拓人 氏

休憩 14:10～14:20

2) フリートーク 14:20～15:20

『 50 周年記念事業について 』

50 周年記念事業 WG より話題提供

休憩 15:20～15:30

3) 例会 ②部 15:30～16:25

『ポリマーセメントモルタルを用いた RC はりの下面増厚補強について』

神戸市立工業高等専門 都市工学科 水越 睦視氏

[連絡先] 〒530-0012 大阪市北区芝田 1-4-8 北阪急ビル 4 階  
阪急設計コンサルタント株式会社 岡重 嘉泰

TEL : 06-6359-2756 / FAX : 06-6359-2762 / e-mail : okashige-y873@sekkei.hankyu.co.jp

[案内図]



構造

懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

## 第 491 回 構造懇話会 例会での報告概要

### 1. 『PCケーブルの自動緊張装置・管理システム (CCL工法) の開発』

①報告者 神鋼鋼線工業(株) 技術部 PC技術室 松平拓人氏

#### ②報告内容

プレストレストコンクリートの緊張力導入にあたっては、緊張機器 (ジャッキ・ポンプ) の操作、および緊張管理に関する諸数値 (圧力・伸び等) の測定を行う必要があり、これにより作業人員や労力がかかる。特に諸数値の測定にあたっては、高圧力状態のジャッキに人が近づく必要があり、安全対策には一層の注意が必要となる。当社のCCL工法自動緊張・管理システムは、緊張機器をタブレットパソコン上でリモート操作し、同時に圧力、伸びデータ等を自動測定するシステムであり、これにより操作・測定による労力の削減、安全性の向上、さらには計測データの信頼性向上に寄与するシステムである。本報告では、システムの詳細や実橋での使用実績について述べる。

### 2. 『ポリマーセメントモルタルを用いた RC はりの下面増厚補強について』

①報告者 神戸市立工業高等専門 都市工学科 水越 睦視氏

#### ②報告内容

劣化した道路橋床版やボックスカルバートの補強工法の一つに下面増厚工法がある。本工法は、RC 部材の下面に鉄筋や FRP 筋を配置した後、ポリマーセメントモルタル (PCM) を施工し、一体化することにより曲げ・せん断耐力や疲労抵抗性を向上させるものである。はじめに、PCM の基本特性と下面増厚工法の設計・施工上の留意点について述べる。また、各種、PCM を用いて作製した RC はりの曲げせん断載荷実験の結果について紹介する。